

今治港富田地区警備保安事業

事業者選定基準

令和8年6月

今 治 市

目 次

第1. 本書の位置づけ	1
第2. 審査の概要	1
1 審査の方法	1
2 審査の体制	1
3 審査の手順	2
第3. 審査基準	3
1 参加資格要件審査	3
2 提案審査	3
第4. 総合評価	6
第5. 優先交渉権者等の決定	6

第1. 本書の位置づけ

本書は、今治市(以下「市」という。)が今治港富田地区警備保安事業(以下「本事業」という。)の事業者を選定するに当たって、最も優れた事業者を選定するための方法、手順、評価基準等を示したものである。

第2. 審査の概要

1 審査の方法

本事業を実施する事業者の選定方法は、各応募者からの本事業の実施に係る対価(以下「提案価格」という。)及び提案書の提案内容を総合的に評価する公募型プロポーザル方式により行う。

審査の方法は、応募者の備えるべき参加資格要件に関する「資格審査」と、応募者からの提案価格及び提案書の提案内容に関する「提案審査」による2段階で実施する。

資格審査は、本事業への参加希望表明を行った者の参加資格要件の適格性を審査するために行う。

提案審査は、資格審査を通過した者を対象として、提案書の提案内容の評価(以下「定性的審査」という。)、提案価格の定量的な評価(以下「定量的審査」という。)により行い、定性的審査により定性的評価点を算出し、定量的審査により定量的評価点を算出する。

〈定性的審査・定量的審査の配点〉

提案審査内容	配点
定性的審査	80点
定量的審査	20点

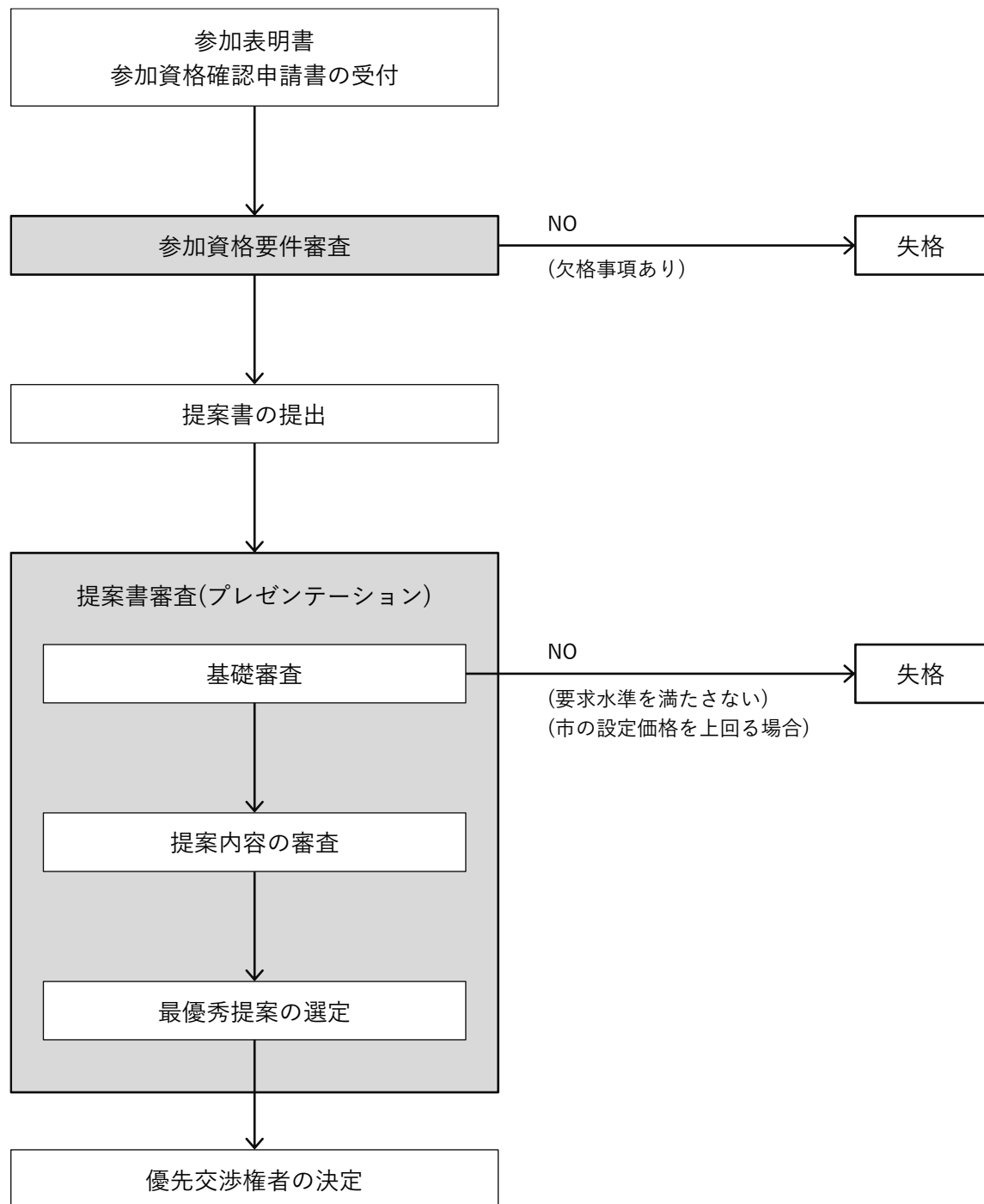
2 審査の体制

市は、本事業において公募型プロポーザルを実施するに際し、中立かつ公正な事業者の選定が行われるよう審議を行うことを目的として今治港富田地区警備保安事業選定委員会(以下「選定委員会」という。)を設置する。

選定委員会は、提案書について本書に定める評価基準に基づき評価を行い、最優秀提案者及び優秀提案者を選定する。市は、この結果を踏まえ、本事業の優先交渉権者及び次点交渉権者(以下「優先交渉権者等」という。)を決定するものとする。

3 審査の手順

審査の手順は以下のとおりである。



第3. 審査基準

1 参加資格要件審査

募集要項において示す応募者の備えるべき参加資格要件の具備について、審査を行う。参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

2 提案審査

(1) 基礎的事項の確認（基礎審査）

提出された〈様式16〉「価格提案書」に記載された契約価格(提案価格に消費税及び地方消費税を加えた金額)が、募集要項において市が設定する上限価格を超えていないことを確認する。市が設定する上限価格を超える金額の「価格提案書」を提出した応募者は失格とする。

(2) 提案審査（プレゼンテーション）

提案書の内容について、次頁以降に示す評価項目ごとに、評価の視点に基づき評価を行う。

定性的審査の評価点付与基準は、以下に示す5段階によるものとし、評価に従い各審査項目の配点に対応する係数を乗じて算出するものとする。

〈 評価点付与基準 〉

評価区分	評価の意味合い	係数
A	特に秀でて優れている	1.00
B	秀でて優れている	0.75
C	優れている	0.50
D	わずかに優れている点を認める	0.25
E	優れている点が認められない	0.00

〈 評価項目・主な評価の視点と配点 〉

評価項目	主な評価の視点	配点		様式番号
1 業務遂行力に関する項目		25		
実施体制・専門技術	<p>○統括管理責任者・業務責任者の実績・能力</p> <p>○業務実施体制</p> <p>※豊富な実績や能力を有する責任者による効果的なプロジェクトマネジメントが期待できる</p> <p>※管理体制が構築されており、各責任者の役割分担が明確である</p>	15	5	様式19
	<p>○設備更新・維持管理に関する技術力</p> <p>※必要な資格・能力を有する技術者が十分に配置されている</p> <p>※故障発生時等に適切に対応できる体制が構築されている</p>		5	様式20
	<p>○警備業務に関する技術力</p> <p>※必要な資格・能力を有する警備員が十分に配置されている</p> <p>※適切なシフト管理と確実なバックアップ体制が構築されている</p>		5	様式21
同種・同規模業務の実績	<p>○国や地方公共団体における同種業務実績</p> <p>※本業務と業務内容・業務規模等の面で類似する業務実績を豊富に有する</p>	10	10	様式22
2 企画提案力に関する項目		53		
実施計画	<p>○業務実施方針</p> <p>※本業務の目的、今治港富田地区の現状、要求水準を十分に理解し、優れた方針が提案されている</p>	5	5	様式23
	<p>○設備更新・維持管理業務に関する計画</p> <p>※要求水準を上回り、新技術の活用なども想定した更新設備が提案されている</p> <p>※既存設備の適切な撤去計画(工程、方法、安全対策、処分方法等)が提案されている</p> <p>※具体的な予防保全計画、経年劣化を考慮した更新計画が提案されている</p> <p>※設備の稼働状況を適切に管理するモニタリング計画が提案されている</p>	20	40	様式24 様式25

評価項目	主な評価の視点	配点		様式番号
	○警備業務・保安対策に関する計画 ※監視・巡回業務の高度化、効率化を図る業務実施計画が提案されている ※出入管理業務の実効性を高める優れた工夫が提案されている ※モニター監視業務の精度向上に資する優れた工夫が提案されている ※テロ対策・非常時対応に関して、具体的かつ優れた提案がなされている ※災害時・緊急時対応に関して、具体的かつ優れた提案がなされている ※業務品質を担保するための適切なモニタリング計画や人材育成・技術継承上の優れた工夫が提案されている	20		様式26
工程計画	○引継業務・設備更新業務の実現可能性 ※現行事業者との引継業務、設備更新業務の実施にあたり、保安体制を維持できる体制、円滑に進める具体的な工程計画が提案され、実現可能性の高い内容となっている	5	5	様式27
地域貢献	○市内事業者等の活用 ※事業実施における市内事業者等の積極的な活用について具体的な提案がある	3	3	様式28
3 取組姿勢に関する項目		2		
取組意欲・信頼性	○意欲の高さ・質疑応答の的確さ ※提案内容、プレゼンテーションから本事業への意欲の高さ、積極性が感じられる ※ヒアリング時の質疑応答が的確である	2	2	(全般)
配点合計		80		—

(3) 定性的審査の要件

定性的評価点は、選定委員会の各委員の評価点の平均により算出することとし、審査点数が6割に満たない場合は失格とする。なお、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出する。

(4) 定量的審査

定量的審査においては、以下に示す算定式により定量的評価点を算出する。定量的審査の配点は20点を上限とし、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出する。

〈 算定式 〉

$$\text{定量的評価点} = \text{満点(20点)} \times \text{最低提案価格}^{\ast 1} / \text{提案価格}^{\ast 2}$$

※1 最低提案価格とは、全応募者の希望価格の内、最も低い希望価格をいう。

※2 提案価格とは、様式16(価格提案書)における「契約金額(提案価格に消費税及び地方消費税を加えた金額)」をいう。

第4. 総合評価

選定委員会は、定性的評価点と定量的評価点の合計を総合評価点とし、総合評価点が最も高い提案を行った応募者を最優秀提案者として、次いで評価点が高い提案を行った者を優秀提案者として選定し、以下、総合評価点の高い順に順位を決定する。

なお、総合評価点が最も高い応募者が複数ある場合は、定性的評価点が最も高い応募者を最優秀提案者とする。この場合において、定性的評価点が同点である応募者が複数あるときは、選定委員の投票により最優秀提案者を選定する。

$$\text{総合評価点} = \text{定性的評価点} + \text{定量的評価点}$$

第5. 優先交渉権者等の決定

市は、選定委員会による審査結果の報告を踏まえ、優先交渉権者等を決定する。